

IX. 組 織

1. 原爆資料センター運営委員会委員（平成3年4月1日現在）

原 耕平，奥村 寛，朝長万左男，新川 詔夫，関根 一郎，山下 俊一，
池田 高良，辻 芳郎，竹本泰一郎，長瀧 重信

2. 職員（平成3年4月1日現在）

センター長（併）	奥 村 寛
共通部門 事務補佐員	荒 武 陽 子
資料調査部 主任（併）	奥 村 寛
助手	三 根 真理子
助手	森 弘 行
助手	近 藤 久 義
技能補佐員	深 堀 三八子
病理部 主任（併）	関 根 一 郎
助教授	岸 川 正 大
助手	井 関 充 及
助手	西 村 美 香
技官	藤 沢 吉 広

あとがき

その年の研究概要をまとめていくと、前年と変わりばえしないようにみえるが、少しずつ研究が発展していることがわかる。また、研究面以外での変化がみられる。今まで行われていたことが整理されるとともに、新しい活動が始った。整理されたことは、原爆資料センターが他の機関と締結した協定書と原爆資料センターの情報保護規程を載せた。新しいことは原爆被爆者健康個人票が光ファイルとして保存されるようになったこと、そして老化研究に関する病理セミナーが開かれたことである。病理セミナーは他大学から4名の人が参加下さり、研究発表とともに活発に討論していただき、充実した内容であった。内藤芳篤 名誉教授（前 第二解剖教授）は原爆を経験された最後の医学部教授である。停年退官を前にお話を聞く機会があった。貴重な経験談であるので記録として残した。

(Oku)